

## ISO9001、ISO14001 を日常業務化し、経営基盤強化を狙うセミナー

# 改訂 ISO2015 版への移行を経営に活かす！

～ 「経営者の目指す付加価値」達成のためのマネジメントツールとして使う ～

「ISO を長年維持しているが、形骸化や経営に役立たない」と感じている企業は意外に多いのです。ISO 2015 年版は、より経営に直結した使い易いマネジメントシステムの構築と運用を意図して改訂されています。

経営の現場では、品質、環境、労働安全などは日常区別して管理していません。規格構造の共通化により複数の ISO 規格が統合し易くなりました（参：右下図）。2015 年版移行のコツは、現状の ISO を運用面から見直し経営管理の道具として自社マニュアルを改訂することです。

一方で移行期限は 2018 年 9 月、審査は 6～7 月までですが、未だ 80% の事業所が手つかずの状態であり、質の高いマネジメントシステムの構築にはより早い着手が肝要です。

このセミナーでは、統合 ISO (ISO9001+ISO14001) の作り方、社員を協働作業（継続的改善活動）に巻き込むための運用管理（内部監査を含む）の進め方を研究します。

1. 経営に役立つ ISO とは
2. ISO 改訂の意図と 10 のポイント
3. ISO を経営計画を達成する道具として使う
4. 統合マニュアルは、仕事を教える“教科書”だ
5. 適合性内部監査から有効性内部監査への工夫



■日 時 平成29年10月3日(火) 13:00～17:00

■場 所 まつもと工業支援センター（まつもと情報創造館）

■主 催 まつもと工業支援センター

■講 師 シスラボ・スエヒロ 末広 繁和氏

■費 用 無料（資料代として1,000円をご負担いただきます）

■参 加 定員 20 名 対象者 経営者、管理者、ISO 事務局、内部監査員

申し込み締め切り

平成29年9月22日(金)

【講師プロフィール】 末広 繁和 氏

シスラボ・スエヒロを主宰（上田市）、中小企業診断士として 30 年従事、特にマネジメントシステム構築、管理者育成、小規模企業の ISO 認証支援、統合 ISO システム構築、エコアクション 21 導入支援、企業内内部監査員訓練など 県内・海外 200 社を支援

申込先：まつもと工業支援センター（担当：田村、備前）

E-mail: [industry@mcci.or.jp](mailto:industry@mcci.or.jp) TEL:0263-48-1657

貴事業所名：

E-mail:

住所：

TEL:

所属・役職名	受講者名	所属・役職名	受講者名